

《資料3-2》

＜ソーシャル・トレーニング目標行動設定のための資料＞
※ 左の行動がまだうまくできていない人は、無理をしない範囲で、できそうな目標行動を、右の例を参考にして、設定して下さい。
(この用紙は、次回の目標行動を設定するときにも、参考にして下さい。)

NO	現状のあなたの あいさつに関する行動	目標行動例
1	あいさつしようとしても、 まったくあいさつできない。 (顔も見ることができない)	・心中であいさつしよう。 ・顔をちらっと見るようしよう。 ・軽く会釈してあいさつしよう。
2	あいさつしようとしても、 まったくあいさつできない。 (顔は見ることができる)	・心中であいさつしよう。 ・目であいさつしよう。 ・軽く会釈してあいさつしよう。
3	あいさつはできるが、 顔を見ることができない。	・口元を見てあいさつしよう。 ・顔をちらっと見るようしよう。 ・視線を合わせてあいさつしよう。
4	あいさつはできるが、 小さな声でしかできない。	・少し大きな声であいさつしよう。 ・はっきりと聞こえるようにあいさつしよう。 ・少し離れた人にも聞こえるようにあいさつしよう。
5	あいさつはできるが、 特定の人としかできない。	・あいさつできる人を増やそう。 ・苦手な人にもあいさつをしよう。
6	あいさつはできるが、 かなり緊張してしまう。	・明るい表情であいさつをしよう。 ・身ぶり手ぶりを入れて、あいさつしよう。
7	相手からあいさつされないと、 あいさつを返すことができない。	・相手からあいさつされる前にあいさつしよう。
☆	いつでも、誰にでも、 気軽に、あいさつできる。	・あいさつの後で天気の話（「今日は暑いね」など）をしよう。 ・あいさつの後で一言ほめてあげよう。（「元気そうだね」など） ・あいさつの後で少し話をしよう。（テレビの話や今日の予定など） ・一人でいる人に積極的にあいさつをしていこう。

(3) 事後調査

実践後、次の調査を実施する。

- ア 生徒の「あいさつ」に関する社会生活技能の変容を見るための事後調査を行う。
イ 『ソーシャルトレーニング』に関するアンケート調査を行う。

2 学級の実態

(1) 学校不適応状態

事前に調査した本試案実践2学級の実態は、表のとおりである。

不適応状態	人数
A群	22
B群	24
C群	26

A群の生徒の割合が、30%以上となっており、他の学級と比較すると、学校不適応状態にある生徒の割合が高くなっている。

(2) 「あいさつ」に関する社会生活技能

事前に調査した、「あいさつ」に関する社会生活技能の実態は、《資料3-3》の

《資料3-3》

- まったくあいさつできない。
(顔を見ることができない)
- まったくあいさつできない。
(顔は見ることができる)
- あいさつはできるが、
顔を見ることができない。
- あいさつはできるが、
小さな声でしかできない。
- あいさつはできるが、
特定の人としかできない。
- あいさつはできるが、
かなり緊張してしまう。
- 相手からあいさつされないと、
あいさつを返すことができない。
- いつでも、誰にでも、気軽に、
あいさつすることができる。

